

ポーランド政治クロノロジー(2010年10月)

月	内政	外交
10月	<p>1日 閣議にて、ヤロシンスキ鉄道交通局長官任命を了承。</p> <p>2日 パリコト議員, 新党「現代ポーランド」結成集会開催。</p> <p>5日 政府, デザイナー・ドラッグ(合成麻薬)の生産・販売を禁止する法案提出。</p> <p>6日 パリコト議員, 市民プラットフォームから正式に離党。</p> <p>7日 トゥスク首相, バローゾ欧州委員長に合成麻薬の問題を欧州議会で取り上げる旨書簡で伝達。</p> <p>8日 市民プラットフォーム(PO)全国評議会, 4名の副党首を選出(スヘティナ下院議長, グロンキエヴィッチ-バルツ・ワルシャワ市長, コパチ保健相, シコルスキ外相)。</p> <p>11日 パリコト元 PO 議員, 地元(ルブリン)で集会招集, カリシュ民主左翼連合(SLD)議員に自身の新党に加わるよう呼び掛ける。</p> <p>12日 マゾピエツキエ県ピリツァ郊外のノヴェ・ミアストにてミニバスとトラックの衝突事故。18名のポーランド人が死亡。</p> <p>12日 マゾピエツキ元首相, 大統領顧問(戦略担当)に就任。</p> <p>13日 農民党(PSL), 統一地方選キャンペーン戦略を発表。</p> <p>13日 カリシュ SLD 議員, 同党を離党しない意向を表明。</p> <p>14日 政府閣議, 医療サービス改革法案2本を承認。</p> <p>14日 コモロフスキ大統領, ドンブロフスキ国家司法評議会議長を最高裁長官に任命。</p> <p>17日 PO, 統一地方選キャンペーン集会開催。</p> <p>17日 PiS, 統一地方選キャンペーン戦略発表。</p> <p>18日 コモロフスキ大統領, ヴイチツカ国務次官(社会問題担当)任命。</p> <p>19日 「法と正義(PiS)」ウッジ事務所に, 男が</p>	<p>1日 コモロフスキ大統領, ヤルタ欧州戦略会議年次会合に出席(-2日)。</p> <p>1日 欧州基金フォーラム開催(-2日)。</p> <p>4日 コモロフスキ大統領, ポーランド・ロシア難問委員会と会合。</p> <p>4日 トゥスク首相, 第8回 ASEM サミットに出席(-5日, 於:ブリュッセル)。</p> <p>5日 サヴィツキ欧州評議会議員会議(PACE)事務局長, 事務総長に選任。</p> <p>5日 閣僚評議会, アフガニスタン任務の延長について議論。</p> <p>6日 シコルスキ外相, トルコ訪問(-7日)。</p> <p>6日 ボルセヴィチ上院議長, ポーランド・リトアニア・ウクライナ国会議員会合に出席(-8日, 於:ピリニユス)。</p> <p>6日 墜落した政府専用機の残骸の保護作業完了(於:スモレンスク)。</p> <p>6日 チェニューフ参謀総長, リトアニア訪問。</p> <p>10日 大統領機墜落事故犠牲者遺族による追悼巡礼(於:スモレンスク)。</p> <p>11日 バローゾ欧州委員会委員長, ポーランド訪問。</p> <p>12日 国防省, 米軍戦闘大隊が, ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊の指揮下に入ると発表。</p> <p>13日 トゥスク首相, ブルガリア訪問(-14日)。</p> <p>13日 クウェート国民議会代表団, ポーランド訪問。</p> <p>13日 コモロフスキ大統領, アフガニスタン派遣部隊の派遣期間延長等に関する動議に署名。</p> <p>13日 中国総合兵站委員会副委員長, ポーランド訪問(-15日)。</p> <p>13日 国防省, 11月からの米ペトリオット部隊の駐留隻は, 当初モロンク, 以後トルンになる旨発表。</p> <p>13日 ポーランド人専門家による事故現場の調査開始(-27日, 於:スモレンスク)。</p> <p>14日 ポーランド・ドイツ内相会談(於:ズゴジェツ/ゲルリッツ)。</p>

<p>侵入し、欧州議員助手1名を射殺、下院議員助手1名が重体。同犯人は現行犯逮捕。</p> <p>19日 パリコト元 PO 議員、新党登録を申請。</p> <p>20日 ウッジ PiS 事務所事件に関する下院調査委員会開催。</p> <p>21日 PO、憲法改正法案(両院定数削減、選挙法改正、議員特権の縮小、大統領拒否権の条件緩和等)提出。</p> <p>21日 ドウダ連帯シロンスク支部長、労組「連帯」新代表に選出。</p> <p>22日 コモロフスキ大統領、ウッジ PiS 事務所事件に関する協議を招集。カチンスキ PiS 党首は欠席。</p> <p>22日 PO、体外受精に関する法案提出。PiS は体外受精を刑罰化する対案提出。</p> <p>26日 憲法裁判所、農民医療費を一律に国庫負担する現行制度を違憲と判断。</p> <p>26日 コモロフスキ大統領、各政党党首に対し、ウッジ PiS 事務所事件に対する一致団結した抗議と党間の和解を促す書簡を發出。</p> <p>26日 PSL、統一地方選候補者2万4千人を登録。</p> <p>27日 国家選挙管理委員会、統一地方選立候補締め切り。</p> <p>27日 下院、医療サービス改革に関する法案の議論開始。</p> <p>27日 PSL 等、政治における攻撃的発言を撤廃する決議案を提出。同案について、PO、SLD が賛同するも、PiS は独自案を提出すると表明。</p> <p>28日 下院、憲法改正に関する特別委員会設置(PO及びPiSが改正案を提出)。</p> <p>29日 コモロフスキ大統領、EU問題に対する政府・議会の協力をめぐる法案に署名。</p> <p>29日 下院にて、予算関連法案、外国人関連改正法案通過。</p> <p>29日 下院にて、憲法改正に関する特別委員会発足。</p>	<p>14日 シコルスキ外相、クリフ国防相、NATO非公式外相・国防省会合に参加(於:ブリュッセル)。</p> <p>14日 アフガニスタン派遣部隊兵士1名、迫撃砲の攻撃を受け死亡(22人目の犠牲者)。</p> <p>14日 セレメト検事総長、ロシア側より、政府専用機の墜落事故に関する7冊のファイルを受領。</p> <p>15日 コモロフスキ大統領、イタリア、バチカン訪問(-17日)。</p> <p>18日 チェニューフ参謀総長、中国訪問(-23日)。</p> <p>20日 ポーランド側、ロシア国際航空委員会作成の政府専用機事故調査に関する報告書草案を受領。</p> <p>21日 シコルスキ外相、クリフ国防相、英国訪問。</p> <p>22日 シコルスキ外相、非公式ヴィシェグラード外相会合に出席。</p> <p>25日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外相、EU外務理事会・総務理事会に出席。</p> <p>25日 オルブライト元米国務長官、ポーランド訪問。</p> <p>26日 コモロフスキ大統領、ルーマニア訪問。</p> <p>27日 ラヴロフ露外相、ポーランド・露戦略協力委員会会合に出席(-28日、於:ワルシャワ)。</p> <p>27日 ズドロイエフスキ文化相、訪露。</p> <p>27日 ヴァーシュボウ米国防次官補、米・ポーランド・ハイレベル防衛グループ会合に参加(於:ワルシャワ)。</p> <p>28日 トウスク首相、欧州理事会に出席(-29日)。</p> <p>28日 パヴラク副首相兼経済相、ウクライナ訪問。</p> <p>28日 ゴードン米国務次官補、ポーランド・米戦略対話及び国際安全保障におけるEUの役割に関する会議に出席(-29日、於:ワルシャワ)。</p> <p>28日 チェニューフ参謀総長、EU軍事委員会に出席。</p> <p>28日 クリフ国防相、ギリシャ訪問(-29日)。</p> <p>28日 アフガニスタン派遣部隊の任務継承式典(第7次 第8次)開催(於:アフガニスタン)。</p> <p>29日 ポポフスキ欧州議会事務局長、欧州対外活動庁事務次長に任命。</p> <p>29日 ナヴラチチ・ハンガリー副首相兼行政・法務相、ポーランド訪問。</p>
--	---